



# 波紋

特定非営利活動法人  
 教育活動総合サポートセンターだより  
 「波紋」第4号  
 発行人 井口 衛  
 題字デザイン・山口正勝

発行所 教育活動総合サポートセンター  
 〒213-0033 川崎市高津区下作延1219-104  
 TEL・FAX: 044-877-0553  
 E-mail: support0731@luck.ocn.ne.jp  
 ホームページ: http://www16.ocn.ne.jp/~snmi/  
 印刷 西桜印刷株式会社

## 一年、一年、一年

― 設立して四年目をむかえました ―  
 皆様お一人、お一人のあたたかいご理解  
 ご支援ありがとうございます

教育活動総合サポートセンター  
 スタッフ一同

### 「子たちに力を 子たちと夢を」

今日もサポートセンターの活動は  
 営まれています。この紙面にある子  
 ども達の夢と願い、保護者の熱い想  
 いを受けとめ活動するスタッフの姿  
 に頭がさがる日々です。さて、十八  
 年度の事業報告、十九年度の事業計  
 画の概要(別面参照)も三月二十四  
 日の理事会で承認されました。十八  
 年度も皆様のご支援で新しい事業の  
 広がりを見ることができました。

青少年の家の共同運営・キッズセ  
 ミナー、サイエンスセミナー・輝け  
 明日の先生の会・ほのぼのスクール  
 等があげられます。当サポートセン  
 ターの事業につきまして報告研修の  
 場が多くありました。そのひとつと  
 しては昨年十一月、いつもわたくし  
 達の大きな支えであり大きな力をい  
 ただいております退職校長会主催の  
 研修会で報告の機会がありました。  
 85余名の会員の出席があり多くの励  
 ましのお声をいただきました。懇親  
 会には阿部川崎市長、矢沢市議会議  
 長も出席されました。退職校長会  
 の力強さを感じたひと時でした。  
 また年度をしめくくる活動として  
 三月三十一日(土)に文部科学省委  
 託事業の報告会をいたしました。二  
 年間、関係のスタッフが子ども達と  
 向きあいすばらしい実践の成果と努  
 力の足跡を発表いたしました。(詳

しくは別面参照)。お忙しい年度末、  
 土曜日にもかかわらず多くの皆様  
 においていただきました。文部科学省  
 より望月児童生徒指導室長、宮田教  
 育委員長、藤嶋教育委員ご夫妻、垣  
 東総合教育センター所長、黒田前教  
 育委員長、松下元教育長、江頭元総  
 合教育センター所長、篠田退職校長  
 会前会長、坂口会長、吉田副会長、  
 現職の各校種の会長、役員、研究会  
 の役員をはじめ100余名の方々。  
 人の情けとありがたさを感じ  
 と感じた一日でした。全体会、分科  
 会では貴重なご意見と励ましのお言  
 葉をいただきました。一同感激をし  
 ております。



また、十八年度は県教育公務員弘  
 済会、川崎中ロタリークラブ、川  
 崎富士見ライオンズクラブ、東京応  
 化科学技術振興財団より大きな助成  
 をいただきました。励みとなります。  
 編集後記にもありますが十九年度  
 も事業計画を基に運営面、組織面  
 の工夫等をふくめて、三年間の実績  
 を大切にしながら「子たちに力を」  
 をモットーに子たちと夢を共に学び  
 共に歩みたいと思うこの頃です。  
 「友よ友」よき仲間とめぐり逢えま  
 した「幸」をいつも感じております。  
 本年度もどうぞよろしくお願い申し  
 あげます。  
 (知事長 井口 衛)

## 19年度活動方針・事業計画

### 1 活動方針

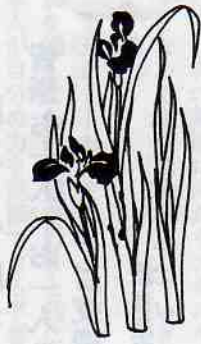
- ① 家庭・学校・地域および教育関係機関等との連携をもとに、計画した事業を着実に実施し、教育諸活動の充実発展を支援する。
- ② 一人ひとりの児童生徒に誠意をもって対応することを使命とし、子どもたちが目標を持ち生き生きと、生きる力を育てる。
- ③ 組織力の向上と諸活動の充実をめざし、活動会員の補充と拡充を図る。

### 2 事業計画

- ① 学習支援・適応指導事業  
各教科学習の基礎基本の補習や学習不振に悩む小・中学生(高校生)を対象にした学習支援をサポートセンターを会場に毎年実施する。
- ② 不登校者に対する教育相談・適応指導事業  
不登校者に対し、サポートセンターを学習・活動の場として提供し、教育相談・学習指導・進路相談等の支援活動を年間通し行う。
- ③ 学習サポーター派遣事業  
小学生の学力向上に向け、学級担任の補助として、教員を目指す大学生等を中心に、サポーター派遣希望校に対し年間を通して派遣する。
- ④ 学校図書館開放事業  
休日、長期休業等を活用し、学校図書館を児童生徒および市民に開放するための管理運営にあたる。
- ⑤ 教育会館管理・相談事業  
教育会館の管理運営と教職員を対象に児童生徒指導、学級経営、教科等指導法の相談や指導・援助にあたる。
- ⑥ 特別支援教育サポート事業  
小・中学校において通常学級に在籍する障害のある児童生徒に大学生等を特別支援教育サポーターとして派遣する。(新規)
- ⑦ 青少年の家 管理運営事業  
生涯学習財団と合同事業体として、青少年の家の管理運営にあたる。







⑦輝け☆明日の先生の会（教育総合センター委託事業）

教員を目指している臨時任用教員、非常勤講師大学生等を対象に土曜日等を活用し年間講義15回、ゼミ6回を計画している。

⑧キッズセミナー・サイエンスキッズセミナー  
独立行政法人福祉医療機構・東京応化科学技術振興財団の協力をうけ、夏休みを利用して、学校ではできない発展学習、体験学習、実験などの学習を実施する。

⑨市教育委員会委託事業

御幸・土橋小学校の合併等に伴う相談・指導援助に向けて相談員を派遣する。

⑩不登校についてのパネルディスカッション

⑪不登校の親の意見交換会

⑫ほのぼの宿泊体験学習会

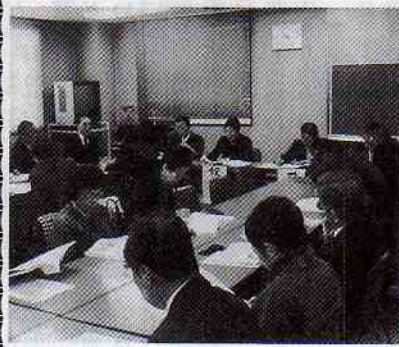
⑬文化活動事業

⑭文化事業講演会に開催

### 不登校への対応におけるNPO等の活用に関する実践研究事業報告

17・18年と2年間で、文部科学省より標記の研究委託を受け、スタッフ一同、その研究に取り組んできた。

発表報告会は、3月31日（土）教育会館で行なわれた。文科省初等中等局



児童生徒指導室長望月禎氏の挨拶のあと、報告は、研究推進を図るための課題・カリキュラム開発の基本的な考え方・不登校児童生徒の学校復帰支援活動が提案された。その後は分科会で、小学校部会・中学高校部会の2部会（後に掲載）そして、全体会（分科会報告・生き生きとした子どもを目指した支援活動・指導講師）で幕を閉じた。参加者は100人余であった。

#### 小学校部会

サポートセンターに来ている児童生徒の多くは学力不振に悩んでいる。彼らの生活環境などを十分に踏まえ自信の回復につながる学習を模索していかなければならない。決して容易なことではないが画一的な手法では成果は望めない。日々葛藤の連続である。また、両親の不在などによって

学生の所属大学は、通信生を含んで、玉川大、明星大をはじめ、県内外40大学に及んでいる。

現場からの派遣要請は日増しに強くなる中、新規に始まる特別支援学級への派遣を含め、新年度の準備体制を急いでいるところである。

### サポーター派遣事業

今年度の各校へのサポーター派遣は、67校（小64、中3）で、学生の派遣数は、80人であった。昨年は、43校（小41、中2）で50余名であったので大はば増員となった。

### 教師塾「輝け明日の先生の会」開設

教師を目指す大学生や社会人、教師だはまだ経験の浅い人そんな明日の川崎の教育を担う若者達の為の生日の場『輝け☆明日の先生の会』が総合教育センターの主催で、平成18年の秋から始まった。サポーターではこの内容企画と運営を委託され、講話20本、ゼミナール10時間を実施した。当初50人くらいを想定していたが、100名を超える申込者があり、理事の方々、現職の皆様の大きなご協力をいただいて終了した。新年度は5月から始まる。

### 中学校部会

「学習の遅れを個に合った指導計画のもとに実践し、自信をとりもどし学校に復帰したA子」孤立し心をかたく閉じている子もいる。幼い時に受けた衝撃ははかり知れないものがある。不参加だった日光修学旅行や鎌倉見学を担当者が再現した。少しずつ心を開いていく中で語り合いは深まり真意が聞こえてくる。個人情報配慮し学校家庭社会と深く結びつけたセンターでありたい。

### 川崎市青少年の家 指定管理受託

青少年の家でこんな活動をしています  
〈ほのぼのスクール〉  
―学社融合をめざして―  
小中高生が4泊5日しながら通学をする。さまざまな創作活動を通して友を理解しあうことの喜び、心のふれあいのすばらしさを体験している。  
〈エコチャレンジクラブ〉  
自分の身近な環境についての体験学習を重ねてきている住みよい地球を考える第一歩  
〈ふれあい体験活動〉  
宿泊をしながら生活訓練、集団活動、学習活動を通して「生きる力」を育んでいる。



# 元気な学ば子たち

## うれしかったこと

ぼくは、サポートセンターにはいつてうれしかったことがたくさんあります。

一つ目は、算数が得意になりました。サポートセンターにはいる前は、学校のじゆ業があまりわからなくて手をあげる自信がありませんでした。

でもS先生に教えてもらってだんだんできるようになりました。先生が近くにいるから、わからない所はすぐに聞くことができます。ぼくがわかるまで教えてくれます。それと先生は、

「まちがえることははずかしいことじゃないんだよ。」

と言ってくれたので学校でも手をあげることができるようになりました。今は学校で1日1回は必ず手をあげようと努力しています。

あと、サポートセンターは勉強だけじゃなくて飛行機やたこを作らせてくれたり、じゆ業の最後にゲームをやらせてくれるので楽しいです。

(小4・K・K)

## 獣医師をめざして

サポートセンターに来るようになったわけは、近所の友達が行っ

ていた事と、私が学校の勉強について行けなかったからです。私は今まで国語と算数を習っていました。サポートセンターに来る前は、国語も算数もテストの点数が悪く、そんなこともあって、通信教育で勉強をしていましたが、わからないところは、説明してもらえないのでどんだんたまってしまいました。結局少したってやめてしまいました。そして、サポートセンターに来るようになりました。わからないところは、わかりやすく説明してもらえるのでテストの点数も、どんだん上がっていきました。私

は、将来じゆう医さんになりたいと思っているので、もつと早く来ればよかったですと思っています。自分のためにも将来のためにもなるので中学生になっても、サポートセンターに来たいと思っています。中学に行っても、いい点数を取りたいです。

(小6・E・K)

Thankou  
for teaching me many things!!

私はこの4月から高校へ進学します。そして、中学校と同じようにサポートセンターも卒業しなくてはいけません。初めて塾に通う私に、先生方はいつも優しく接し

## 心やすむのサポートセンター

一年中元気で前向きな娘は、「もつと勉強ができるようになりたい。」といつも口にしていました。そんな時、主人の恩師であるT先生にサポートセンターの話を伺いました。

早々、娘と2人でセンターへ行きました。そして、2年7ヶ月が過ぎようとしています。

発達障害の娘は、体調が悪い時は集中力がなくなり多動多弁になり、着席している事さえ困難なのです。そんな娘にゆとりを持ちつつ丁寧な指導、援助をしていただきありがとうございます。

下校途中の娘を見る事があります。センターへ通う2人の友達と

は、将来じゆう医さんになりたいと思っているので、もつと早く来ればよかったですと思っています。自分のためにも将来のためにもなるので中学生になっても、サポートセンターに来たいと思っています。中学に行っても、いい点数を取りたいです。

は、将来じゆう医さんになりたいと思っているので、もつと早く来ればよかったですと思っています。自分のためにも将来のためにもなるので中学生になっても、サポートセンターに来たいと思っています。中学に行っても、いい点数を取りたいです。

は、将来じゆう医さんになりたいと思っているので、もつと早く来ればよかったですと思っています。自分のためにも将来のためにもなるので中学生になっても、サポートセンターに来たいと思っています。中学に行っても、いい点数を取りたいです。

仲良くおしゃべりをしながら。すごく楽しそうに笑いながら、声をかけるのもやめて、つい眺めてしまします。うれしい瞬間です。センターへは月木と通っています。その日は学校から急いで帰り、慌ただしく出て行きます。音読やドリル、プリントを娘のその日の体調に合わせて、娘のペースで気の向くようにやさしく見守ってくださいます。友達と一緒に勉強する楽しさ、本を読む事の大切さ、丁寧に字を書くこと等々たくさん学びました。

青少年の家で行われる宿泊学習は毎回楽しみにしています。歌やゲーム、散策やグライダー作りな

てくれ、熱心に勉強を教えてくださいました。T先生には、3年間数学の勉強を見ていただき、数字を見ただけで計算をあきらめていた私も、計算が好きになりました。H先生には、ここで2年間、先生の家で1年間、英語の勉強を見ていただき、外国の文化を学ぶ大切さを知りました。W先生は、私がここに来て1番初めにお話した先生で、3年生になってから1年間国語の勉強を見ていただき、今まで3だった成績も4になりました。勉強以外にもたくさんお世話になった先生方ともよいお話ができてよかったです。勉強を見ていただいた3人の先生、面接練習をしてくださった、N先生、I先生、A先生、いつも優しいセンターの皆さん

は、将来じゆう医さんになりたいと思っているので、もつと早く来ればよかったですと思っています。自分のためにも将来のためにもなるので中学生になっても、サポートセンターに来たいと思っています。中学に行っても、いい点数を取りたいです。

は、将来じゆう医さんになりたいと思っているので、もつと早く来ればよかったですと思っています。自分のためにも将来のためにもなるので中学生になっても、サポートセンターに来たいと思っています。中学に行っても、いい点数を取りたいです。

ど楽しいこと盛り沢山で、友達と一緒にの入浴や部屋でのおしゃべりが最も楽しいと話してくれました。協力して、がまんして、感謝する事も身に付いてきました。おかげで、中学校のスキー宿泊にも何の心配もなく送り出す事ができました。

娘と私にとってサポートセンターは心安らぐ居場所です。嬉しい時、辛い時顔を出してたくさん元気、やる気、笑顔をもらいます。たくさん先生の先生方に出会い、やさしい大きな心で見守っていただき感謝しています。これからも親子ともどもよろしく願っています。

(中1母・M・M)

さんこんな私を3年間支えてくださりありがとうございます。

(中3・M・M)

## 「すばらしい笑顔で！」

電話口で、茶目っ気のある声で、嬉しそうなお声が響いた。「高校合格しました！」この数日間の緊張から解放された明るい笑顔の声だ。フィリピンから来日して3年目、サポートセンターに通い始めて1年、T君にとって普段の生活の中で日本語を話すことは不自由なくできるようになる。でも、高校入試の「自己PR」と「面接」は緊張感と改まった状況の中での日本語が大きな壁になって萎縮してしまつた。ここからがサポートセンターT君プロジェクトチームのスタートである。自己PRの作成を手伝ってくれる先生方、面接を何回となく何日もかけて繰り返し練習させてくれる先生方、指導は丁寧できめ細かく行われた。多くの先生方の温かな心のこもった関わりとT君自身の努力で夢がかなえられた素晴らしい1日だった。

(T・K)





# 相談活動にあたって

平成18年度の教育相談は、当サポートセンターの活動が市民の方々を知っていただけるようになり、他機関の方からのご紹介と共に市民の直接の来所申込みが増加しています。

また、相談の申込みには、直ちに相談活動を始めように行きますので、例えば、不登校では、行き渋りの段階で来所した場合、比較的短期間で再び登校をする事例が多く見られます。

学習についての相談では、いわゆる発達障害があつて学校に行きたいが授業がよくわからないのでいき渋りの状態にある緊張した面持ち来所した子どもも相談の中で次第に気持ちが落ち着き、和やかな表情が見られるようになります。そして、子どもの学びたいという気持ちを受け止め、1対1でその子自身のペースを大切に、子どもが教科書を丁寧に学び、着実に力をつけるにしたがつて、問題が解けた喜びが、達成感、満足感となり、次の課題に向かうエネルギーとなつて学習活動が進んでいきます。

当サポートセンターは、相談活動を通して心の支援を行うと共に、本人が自分の力を発揮できる学習支援・適応指導との有機的連携により、子どものカリキュラム段階を一步一步進めていきます。その

結果として、同じ生活年齢の集団である学校での生活ができることを願つて、一人ひとりの状態に応じたきめ細かな支援を進めています。

他機関との連携については、特に、神奈川県教育委員会「不登校児童生徒サポートプログラム作成事業」の委託を受け、学校との連携を深め当サポートセンターの独自性を生かした取り組みを行っています。

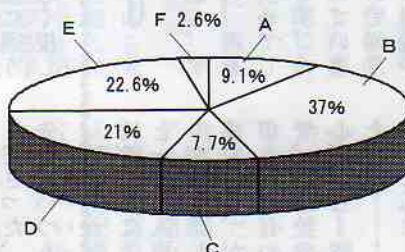
(片山 世紀雄)



## 財政の状況(平成18年度)

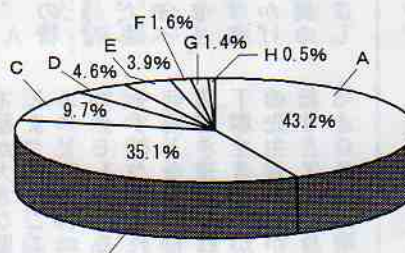
平成18年度における収支(3月24日現在)は次の通りです。

収入は、賛助会費・活動会員からの運営協力金・児童生徒の活動会費等で全体の約80.6%をしめています。



項目	金額(円)
A 繰越金	798,054
B 賛助会費	3,250,000
C 会員年会費	680,000
D 活動会費(児童生徒)	1,845,000
E 運営協力金	1,990,985
F 雑収入	230,017
合計	8,794,056

支出は、子どもたちの学習や相談に対応した活動会員への謝金が約43.2%、事務所などの賃貸料が約35.1%となっています。次いで、水道光熱・事務所管理費が約9.7%、消耗品費が約4.6%、通信費が約3.9%と続きます。



項目	金額(円)
A 活動会員謝礼	2,463,580
B 賃貸料	2,004,120
C 水道光熱・事務所管理費	553,370
D 消耗品費	263,683
E 通信費	222,840
F 研修費	89,199
G 印刷費	80,850
H その他	30,535
合計	5,708,177

18年度は、多くのかたがたにご支援をいただき、財政事情が、昨年度よりやや好転しました。19年度は、子どもたちへのかわりをより充実したものにするためにも、さらに財政面の安定をはかりたいと思います。今後とも、ご支援のほどよろしく願っています。

### 賛助会員さんへお礼

サポートセンターの活動も3年が過ぎました。開設当初は、不登校の子どもたちの学校復帰を目指し、学習援助を中心に取り組んできました。

当時、資金・人材・施設等全ての面で不足していました。賛助会員の皆様の温かいご協力をいただき感謝したことを思い出します。

今、文部科学省の研究報告会も無事終わり、「輝け☆明日の先生の会」「サポーター配置事業」「青少年の家」管理運営・・・多くの事業を行うことができることに感謝しあげます。

### 活動会員さんへお礼

会員の皆様にも大勢参加をしていただきありがとうございます。文部科学省より委託された実践研究報告会を、無事終わることができました。

わずか、2年間の研究でしたが、この研究のおかげで私たち職員の見識も高まり、会員の皆様からも心からのご協力をいただき感謝を申しあげます。

この研究を通して、私たちのような第3者の者が間にはいることで、学校と家庭の連携の輪が広がることがわかりました。

### 編集後記

◆31・8度。4月1日の静岡市での気温。こんなに早い真夏日も珍しい。◆立ち上げて4回目の春を迎えたサポートセンター。様々な活動を総括して新年度のスタートです。◆「子たちに力を」を目指して誠実な支援活動を惜しまないスタッフに、入社春に語られる「3年は黙って働け」の言葉は無用です。◆「ありがとう。またきます。」おかげさまで、少しずつ光が見えてきました。寄せられ

る声に新たな力が湧いてきます。◆予測できない大波を乗り越えたい。◆これが本当の「学力」です。サポートセンターは今年も大きな力を目指します。◆通ってくる子どもたちの学校復帰が1日でも早くなることを願って指導の充実、カリキュラム編成に努めます。◆学校との連携もさらに強めます。◆財政の強化と私たちの熱意は車の両輪です。個人、団体を問わずさらに多くの賛助の申し出を期待します。